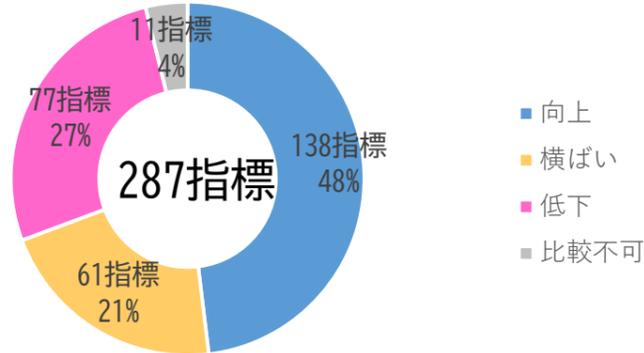


令和5年度における施策・基本事業の成果指標の動き

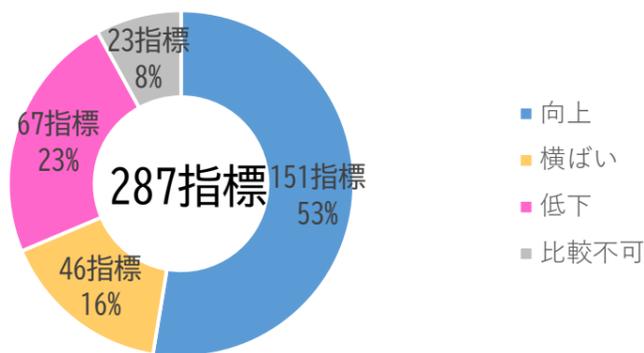
■施策・基本事業の成果指標の動き

前年からの成果指標の動きは、「向上」が48%、「横ばい」が21%で、計画で定めたまちづくりの目指す姿に近づいていると言えます。

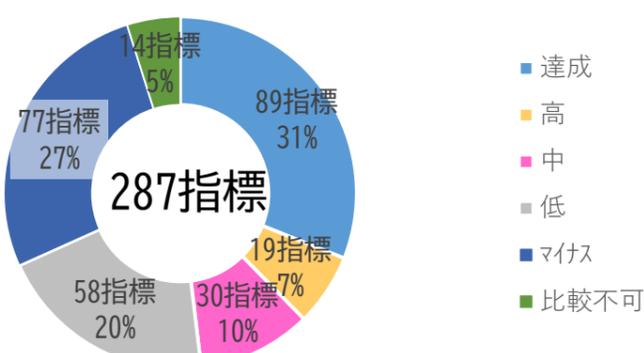
施策・基本事業の成果指標<対前年値>



施策・基本事業の成果指標<対基準値>

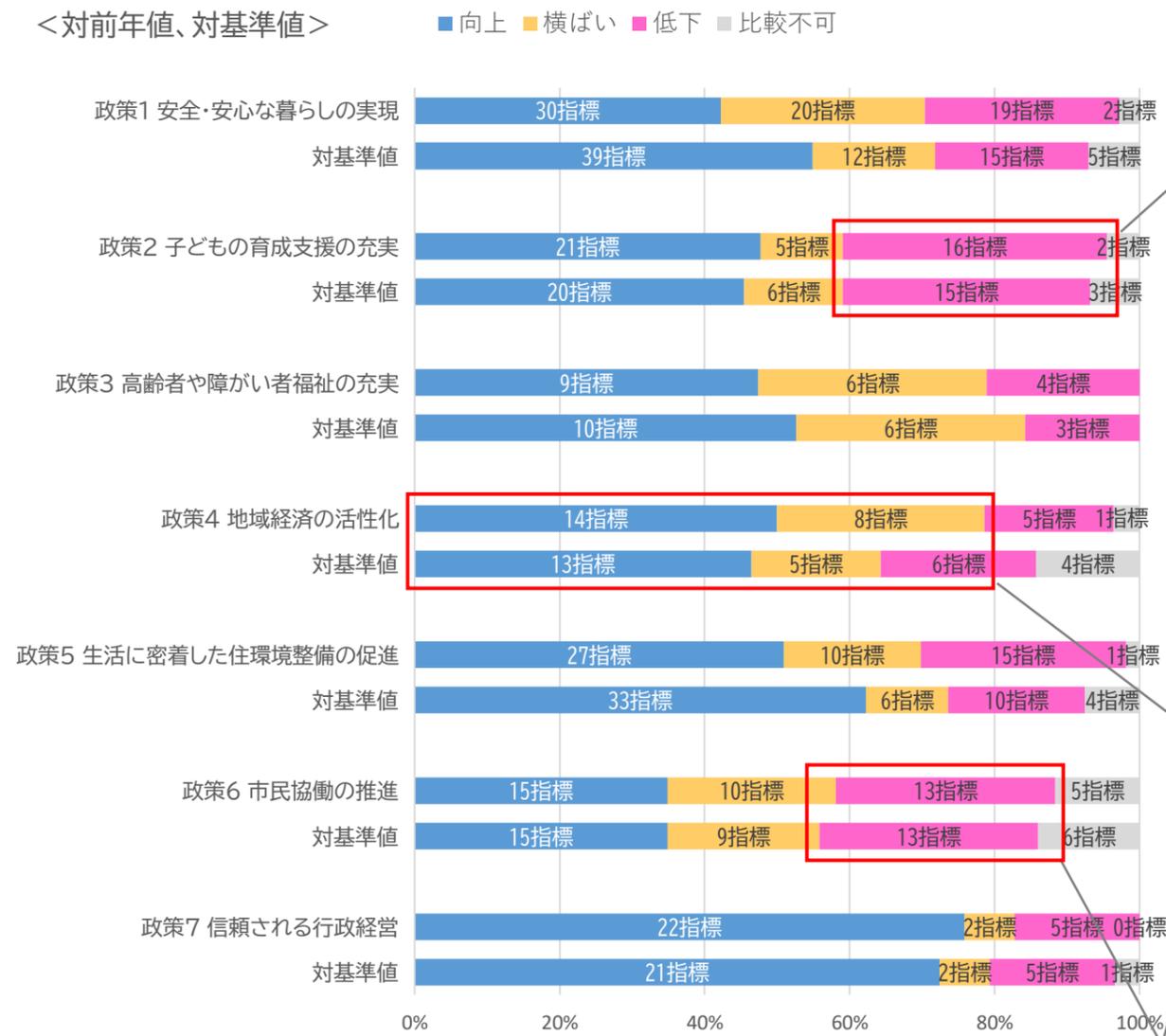


施策・基本事業の成果指標<目標達成度>

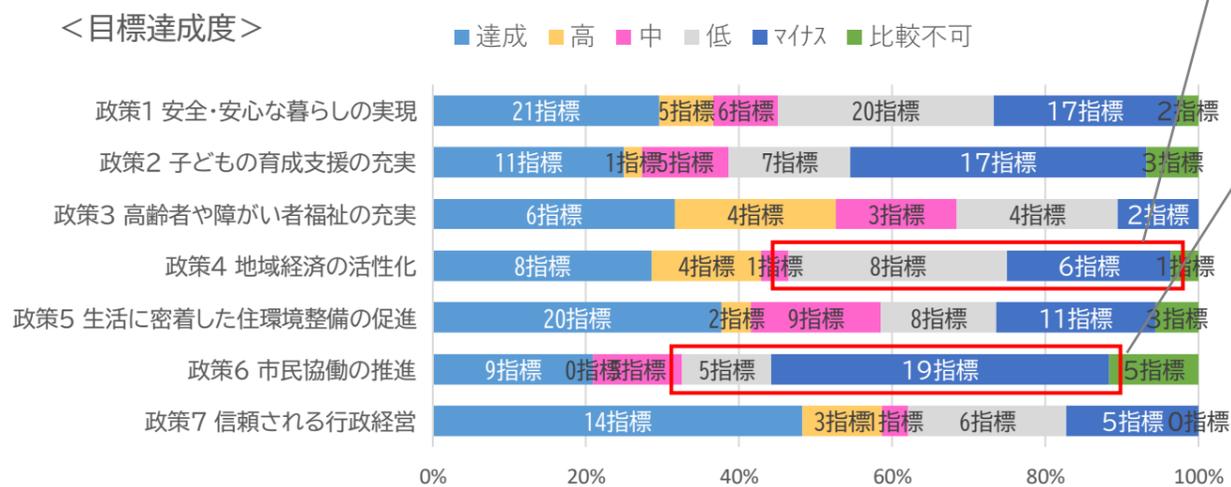


■政策別 施策・基本事業の成果指標の動き

<対前年値、対基準値>



<目標達成度>



政策2 子どもの育成支援の充実 低下している指標が増えている

- ↑0歳から14歳までの人口
- ↑育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合
- ★子どもを遊ばせる場所が十分にあると感じる保護者の割合
- ↑婚姻率(人口千人当たり)

⇒市民アンケートでは、「若者の住みやすさ」についての意見が多く、公共交通、子ども関連の施設、買い物環境、しごと環境など、生活に密着した部分として多岐にわたっている。

政策4 地域経済の活性化 前年より向上が減っている

- ★観光客入込数
- ★製造品出荷額等
- ★労働生産性が向上している企業の割合
- ↑農業産出額(合計)

⇒観光で向上が見られたが、商業・農業は横ばい～低下へ移行。目標達成度は低い。今後も重点化の必要性がある。

政策6 市民協働の推進 低下している指標が増えている

- ↑地域ポイントカード加盟店数
- ↑この1年間で知人・友人に対し、阿賀野市への居住・観光を勧めたことのある市民の割合
- ★市公式SNSのフォロワー数
- ↑年間ホームページアクセス数

⇒目標達成度も低い。新型コロナの回復が完全でないことや高齢化等の社会環境の変化による影響。